

2025(令和 7)年度 一般社団法人東京都バスケットボール協会事業計画書

一般社団法人東京都バスケットボール協会
専務理事 針生淳男

<方針（案）>

東京都バスケットボール協会は、日本バスケットボール協会のビジョンを基に、バスケットボール競技の「普及」と「強化」を通じて、地域社会とともに成長し、未来のトップアスリートを育成することを目指します。また、財務基盤強化を大前提に、私たちの存在意義（価値）を以下と定義し、活動を推進していきます。

- 東京都内でバスケットボールを楽しむ全ての人々に対し、質の高い競技環境を提供する
- 地域コミュニティとの連携を深め、すべての年齢層で、バスケットボールを通じた健全な心身の発展を促進する

<東京都バスケットボール協会の活動骨子（柱）>

1. バスケットボールの普及

- 幅広い年齢層やレベルの人々にバスケットボールを楽しんでもらうための普及活動を積極的に展開します。
- 所属団体との連携を強化し、初心者から経験者まで誰もが参加できる環境を整えます。

2. 競技力の強化

- 次世代のトップアスリートを育成するためのプログラムを充実させます
- 技術指導者を適切に配置し、選手の成長を支援します
- 地域活動や全国大会への参加を奨励し、競技力向上を図ります。

3. 地域連携の強化

- 東京都の区や市町村のバスケットボール競技団体との連携を強化し、地域全体でバスケットボールの普及と競技力向上を目指します
- 地域の大会やイベントを共催し、地域ごとの特色を生かした取り組みを推進します。

4. 運営の効率化

- 東京都バスケットボール協会の運営は、業務効率向上を目指してスリム化を図ります
- デジタルツールの活用や業務プロセスの見直しを通じて、迅速かつ効果的な運営を実現します
- 透明性を重視し、協会の活動や財務状況を適切に開示することで、信頼性を高めます。

以上